

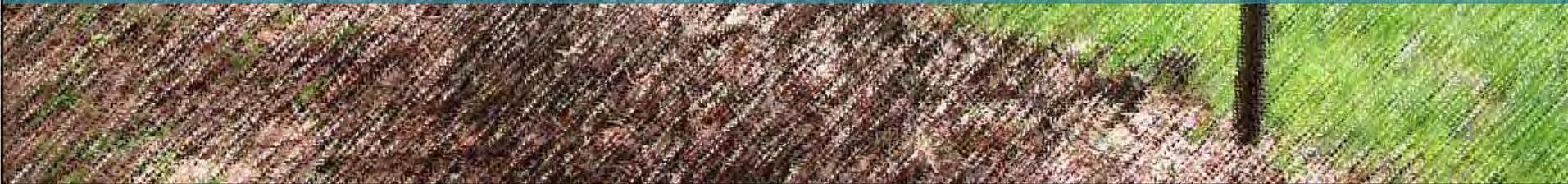


資料3

平成27年度 農と環境を活かしたまちづくり

## 第2回 黒川地域連携協議会

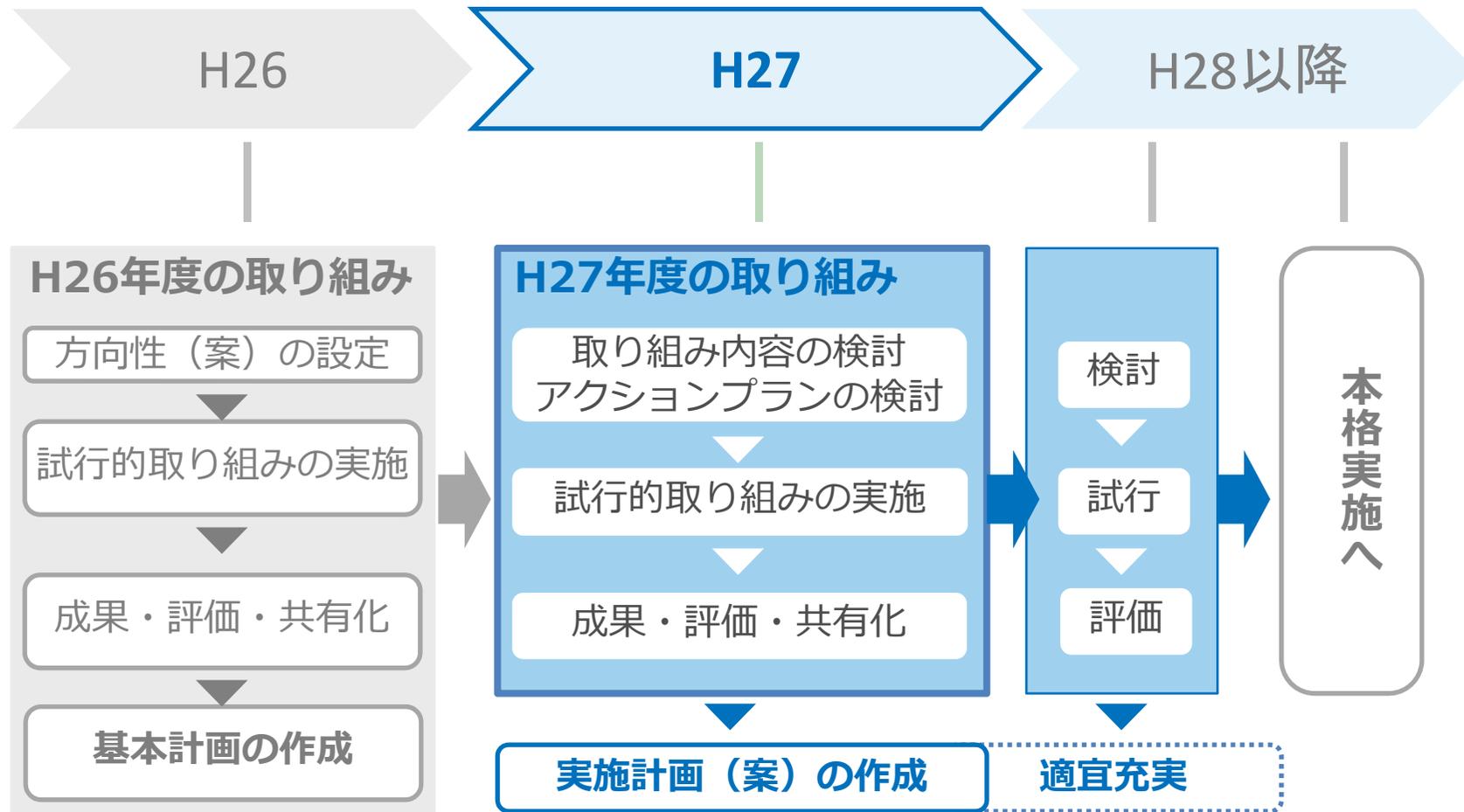
平成27年11月30日（月）



平成27年度 農と環境を活かしたまちづくり

## 第2回 黒川地域連携協議会

1. 平成27年度の取り組みの位置づけ .....	3
2. 平成27年度の取り組みの基本的考え方 .....	4
3. 実施にあたっての留意事項 .....	5
4. 農産物等研究専門部会 .....	6
5. 地域活性化検討専門部会 .....	9
6. 里地里山保全利活用専門部会 .....	16
7. 集中的に実施する試行的取り組みのPR .....	19
8. 今後の予定 .....	20



農と環境を活かしたまちづくりを進めていくため、今年度は関係する様々な皆さんと課題や方向性を共有した上で、試行的取り組みを推進します。

### ● 農家の方や地元の方等へのご理解と、多様な担い手への協力体制の強化

多様な担い手への取り組みを進める為、農家の方、地元住民、周辺企業、大学、緑等関わる市民団体等に、「黒川地区 農と環境を活かしたまちづくり」について、ご理解とご協力のため、説明や意見交換を進めていきます。

### ● 多様な担い手の連携による試行的取り組みの推進

黒川地区にとって、どのようなことを進めていくのがよいか、ちょっとできそうなもの、やってみたいことなどを、まずはできる範囲で試してみながら、具体的な取り組み内容を決めていきます。

課題解決の糸口を見つけながら様々な取り組みを**試行**

### ● 試行による取り組みをくり返しなが

**「農と環境を活かしたまちづくり」の実施計画**につなげていく

実施した実感を高める

集客、市民の反応、担い手の達成感

取り組みながらPRする

集客、市民の反応、マナーアップ

多様なチャレンジをする

新たな可能性、新規顧客、多様な連携

試行的取り組みの実施と検証を繰り返しながら、  
地域が一体となって、地域に根付く文化を育んでいける  
黒川地区 農と環境を活かしたまちづくり 実施計画の策定へ

## 4-1. 今年度の取り組み事項

実施方針	取り組み事項（実施項目）	主な体制	実施時期
①新規農産物や郷土農産物栽培の推進	<b>1) 農産物の栽培手法の検討・試行（地元と大学の連携）</b> ①明治大学黒川農場の見学会 ②大学と農家の意見交換会 （地域連携による農産物づくりの検討等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元農業者</li> <li>・明治大学</li> <li>・黒川農場</li> <li>・川崎市</li> </ul>	H28年 2月下旬～ 3月 (予定)
②農産加工品の開発検討	<b>2) 農産加工品開発の検討・試行</b> ①女性農業者との意見交換や講習会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性農業者</li> <li>・明治大学</li> <li>・黒川農場</li> <li>・川崎市</li> </ul>	H28年 2月下旬～ 3月 (予定)
	②黒川農場アグリサイエンスアカデミー（市民講座）への地元農業者の講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元農業者</li> <li>・明治大学</li> <li>・黒川農場</li> <li>・川崎市</li> </ul>	H27年 12月19日 (予定)
③農産物等のイベント活用やPRの推進	<b>3) 多様な主体が連携した黒川産農産物のPR</b> ①収穫祭での黒川産農産物のPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元農業者</li> <li>・明治大学</li> <li>・黒川農場</li> <li>・川崎市</li> </ul>	H27年 11月7日 (実施済)

## 4-2. 活動報告（中間報告）

## 収穫祭での黒川産農産物のPR

実施日：平成27年11月7日（土）（明治大学黒川農場収穫祭）

実施内容：地元農業者による黒川産農産物の販売（PR）



農家さんの販売テント



黒川産農産物



購入者の列



メニュー表



販売のようす（農家さんと市民の交流）



## 4-2. 活動報告（中間報告）

## 感想や要望



（収穫祭での黒川農場と農家さんの黒川産農産物の販売について）

新鮮な野菜をいろいろ  
買えて良かった

農家の方が白菜のぬき菜の  
育て方を教えてくれて良かった

もっと現場から直接  
野菜を持ってきた感  
があると面白い

わけあり野菜の  
販売などがほしい

農家さんしか知らない美味  
しい野菜を販売してほしい

新鮮で安心な農産物が  
安価で購入できて良かった

めずらしい野菜の紹介と  
試食があると楽しいと思う

農家の皆さんが遠慮がちなので、  
もっと自慢してほしいと思った。

すぐに野菜が売り切れて  
しまって残念だった

11/7実施のアンケートより

## 5-1. 今年度の取り組み事項

実施方針	取り組み事項（実施項目）	主な体制	実施時期
①農と里山の 認知促進	<b>1)環境・景観の向上</b> ①サインの検討・試行 ②散策マップの検討・試行	・地元農業者 ・公学協働ネットワーク （和光大） ・麻生区	H27年 10月31日～ 11月7日
	③里山景観づくりの検討（菜の花等）	（未定）	H28年 3月～4月
	④環境整備の検討（散策路や遊べる水辺づくり）	（未定）	－
	<b>2)取り組み紹介とイベントPR</b> ・ホームページ、パネル展示、アンケート等	・麻生区	パネル：11月7日 HP：通年
②農と里山 の体感	<b>3)農業体験イベント</b> ①グリーンツーリズム（収穫体験）	・地元農業者 ・明治大学黒川農場 ・JA ・川崎市 ・麻生区	H27年 夏：8月1日 秋：10月17日
	②炭焼き体験・シンポジウム	・地元農業者 ・明治大学黒川農場	H28年度
③地域資源の 発見・創造	<b>4)地域資源を活用した取り組み</b> ①菜の花プロジェクト（スイーツレシピづくり）	・明治大学 ・市民団体 ・協力店舗 ・麻生区	H27年 11月7日
	②里地里山の新たな魅力づくり （里山アート制作・展示、散策ツアー）	・地元農業者 ・公学協働ネットワーク （和光大） ・JA ・明治大学 ・麻生区	H27年 10月31日～ 11月7日

## 5-2. 活動報告（中間報告） グリーンツーリズム（収穫体験）

### トマト・ブルーベリーの収穫体験

実施日：平成27年8月1日（土）  
実施場所：ブルーベリー畑、明治大学黒川農場  
参加者：19名

#### ブルーベリーの収穫



#### トマトの収穫



### さつまいも収穫体験とスイーツづくり

実施日：平成27年10月17日（土）  
実施場所：黒川東地区観光農園、セレスモス  
参加者：8名

#### さつまいもの掘り取り



#### スイーツづくり



## 5-2. 活動報告（中間報告）グリーンツーリズム（収穫体験）の感想

## トマト・ブルーベリー

黒川地域の  
景色に癒された

明治大学の先生のお話  
がすごく楽しかった

普段入れない大学での  
施設見学や収穫体験が  
できてよかった

とても楽しかった  
また参加したい

ブルーベリーは  
甘くて美味しかった

収穫してその場で試食  
できるのがよかった

8/1実施のアンケートより

## さつまいも

収穫体験全てが  
楽しかった

いろいろな人と交流  
できてよかった

地産地消のものに  
ふれることができて  
よかった

普段体験できない経験  
をすることができた

食育ソムリエの先生方  
や越畑先生のお話がお  
もしろかった

いつも電車から見ていた  
里山の風景に直接ふれることが  
できて貴重な体験になった

10/17実施のアンケートより

## 5-2. 活動報告（中間報告）

### 菜の花プロジェクト （スイーツレシピづくり）

実施日：平成27年11月7日（土）

実施場所：明治大学黒川農場

実施内容：収穫祭で、菜種油と黒川産農産物を活用したスイーツの販売



### 収穫祭連携イベント

### 取り組み紹介とイベントPR （収穫祭でのパネル展示）

実施日：平成27年11月7日（土）

実施場所：明治大学黒川農場 本館1階会議室

実施内容：黒川地域連携協議会の活動報告（パネル展示）と市民アンケートを実施

来場者数：340名（アンケート回答者数：103名）



アンケートでは、「農と環境を活かしたまちづくり」の取り組みや収穫祭の感想などについて質問し、今後の活動に向けた市民ニーズを調査しました。



## 5-2. 活動報告（中間報告）

## 里地里山の新たな魅力づくり

### 里山アート散策ツアー

実施日時：平成27年11月7日（土）10：00～11：00

実施場所：小田急線黒川駅から明治大学黒川農場  
までの区間

参加者数：23名

ガイド：和光大学芸術学科の学生・教職員

内容：ガイドとともに里山アートをめぐりながら  
黒川農場の収穫祭を目指す散策ツアー



### サイン・散策マップの試行

設置期間：平成27年10月31日（土）～11月7日（土）

展示場所：小田急線黒川駅から明治大学黒川農場  
までの区間

制作：和光大学芸術学科の学生・教職員



黒川駅前



総合案内



歩道沿い（農地など）



施設誘導

## 5-2. 活動報告（中間報告）

## 感想



（「サトヤマ アート サンポ」に関する意見・感想）

見るだけでなく、実際に体験できたり、  
もっと近くで触れられたらいいなと思った

作品のインパクトが足りない

初めて来たがアートにも触れ、  
野菜も買えて良かった

もっと作品が大きいほうがよい

ガイドツアーの誘導は良かった

「流れ」の作品がと  
てもよかった

「音径（おとみち）」の作品では  
風の道を感じることができた

「流れ」の作品は竹林の中で光と  
影を利用し、とても美しかった

「波紋（はもん）」の作品は土地の角地  
に三角に配置されていて美しかった

11/7実施のアンケートより

## 6-1. 今年度の取り組み事項

実施方針	取り組み事項（実施項目）	主な体制	実施時期
①里地里山の 体験・利活用	<b>1) 里山の利活用</b> ・竹行燈づくり	・地元農業者 ・地元住民 ・明治大学 ・川崎市	H27年 11月7日
②里地里山の 保全管理	<b>2) 里山の保全管理</b> ・里山保全活動体験	・地元農業者 ・地元住民 ・明治大学黒川農場 ・川崎市	H28年 2月～3月
その他 (地域活性化検討 専門部会との連携 協力)	<b>3) サイン設置や散策マップ作成への協力</b> <b>4) 地域資源を活用した取り組みへの協力</b> ・地域資源を活用した里山アート製作と展示	—	—

## 6-2. 活動報告（中間報告）

## ①竹行燈づくり

地元の竹を使って たけ あん どん  
～竹行燈をつくろう～



## ○本日の流れ

時間	内容
9:00～ 9:15	集合、開始のあいさつ、移動
9:15～10:00	竹の切出し、移動
10:00～11:30	竹行燈制作
11:30～11:45	鑑賞会
11:45～12:00	終了のあいさつ、収穫祭へご案内

## ○作り方

No.	作業	道具	作業者	イメージ	No.	作業	道具	作業者	イメージ
1	竹を切り出す	チェーンソーのこぎり	指導者 参加者 代表		5	キャンドル設置用の穴をあける	自在きり	指導者	
2	切出した竹を運ぶ（緑地の入り口まで）	なし	参加者		6	あける穴の目印となる型紙を行燈に貼り付ける	セロテープ	参加者	
3	切出した竹を竹行燈1個分のサイズに切断する	チェーンソー	指導者		7	穴をあける	ドリル	参加者	
4	行燈の底と上をカットする	のこぎり	参加者		8	キャンドルを取り付ける	なし	参加者	

実施日：平成27年11月7日（土）

実施場所：農業用管理倉庫・広町緑地

実施内容：黒川地域の竹を使った竹行燈づくり

参加者：子ども15名、保護者13名

## 広町緑地



竹の切り出し



竹の運び出し

## 農業用管理倉庫前



竹の底をカット



ドリルで穴あけ

## 6-2. 活動報告（中間報告）

## 農業用管理倉庫で鑑賞会



## 里山保全活動体験に向けての意向調査

調査日：平成27年11月7日（土）

回答者：竹行燈づくりの保護者 12名

質問① 今後もこのようなイベントに  
子供を参加させたいか

**参加させたい : 12名 (100%)**

質問② 大人向けの里山保全活動の  
参加について

**参加したい : 6名 (50.0%)**

**予定があれば参加したい : 5名 (41.6%)**

**参加したくない : 1名 ( 8.3%)**

質問③ イベントのご案内の送付について

**案内を送って良い : 12名 (100%)**

(上記のうち、メールでの案内を希望 : 1名)

川崎市麻生区 黒川地域 農と環境を活かしたまちづくり

## 里地里山チャレンジウィーク

～里地里山の恵みを体験・体感しよう！～

2015年  
**10/31**±  
～**11/7**±  
プレ10/17

川崎市麻生区黒川地域の良好な里地里山環境（恵まれた農業資源や環境資源）の持続的な保全、利活用や地域活性化を目指して、地元の方、大学、行政等が連携して、10/31～11/7の期間に集中的に様々な取り組みを行います。（10/17より先行的に一部実施）ご興味のある取り組みがございましたら、ぜひご参加ください。皆さんのご参加をお待ちしています。

里地里山の活用を楽しもう！

竹行燈づくり

**実施日 11/7(土)**

黒川地域の竹林から竹を切り出し、子どもたちが地元の方に教わって竹燈籠をつくり、竹行燈をつくります。

場所：農業センター  
集合：せしけモリス大ホール 9:00  
対象：小学生（5～6年生）、中学生 参加費：無料  
定員：20名 申込：必要（先着順） 申込締切：10/23(金)

秋の恵みを楽しもう！

さつまいも収穫体験とスイーツ作り

**実施日 10/17(土)**

さつまいも収穫、スイーツ作りとラッピング、黒川地域の旬の産物を使ったイベントを開催します。

場所：黒川地区観光農園（さつまいも収穫体験）  
せしけモリス大ホール（スイーツ作り）  
集合：黒川駅北口 9:30 参加費：800円  
対象：川崎市在住・在学・在勤の18歳以上の女性（定員16名）

里地里山の新たな魅力を楽しもう！

サトヤマアート サンポ

(里山アート制作 & 展示)

和光大学芸術学部の学生・卒業生・教員、地元農家、明治大学の学生、小学生が連携し、里山アート制作を制作・展示します。作成は、黒川駅から明治大学黒川農場までの緑地や農地等に表示することで、黒川地域の環境と連携した魅力を発信し、新たな黒川のファンづくりを目指します。

**竹のドームづくり (ドームの秘密基地)**

**実施日 10/31(土)**

地元の小学生を対象に里山の魅力をアートにふれあってもらおうワークショップを開催し、地元の竹を活用したサトヤマアートを作ります。

場所：農業センター  
集合：せしけモリス大ホール 13:00  
対象：小学生（親子参加可） 参加費：無料  
定員：40名 申込：必要（定員を超えた場合、抽選）  
申込締切：10/26(月)

黒川地域と一体となった明治大学黒川農場収穫祭を楽しもう！

明治大学黒川農場収穫祭 11/7(土) 11:00～16:00

収穫祭の主な催し

**① 聞く**

- ① 講演会
- ② 『身近なリサイクル 生ごみ堆肥で作物栽培』
- ③ 『里山のおはなし』
- ④ 黒川農場アグリサイエンス アカデミー（市民講座）の紹介

**② 見る**

- ① 黒川農場ガイドツアー
- ② 農学共同研究の紹介

**③ 知る**

- ① 畑での体験収穫（有料）

**④ 食べる＆買う**

- ① 黒川農場の収穫野菜の販売
- ② 『かわさきのハーブ』カフェ、ハーブの販売、ハーブクラフト作り体験（有料）
- ③ とん汁の無料配布

**⑤ 聴く**

- ① 昭和音楽大学卒業生によるミニコンサート

農家さんの地元農産物の販売

地元農家さんが栽培した黒川地域の野菜や果物の販売をします。実際に農家の方とお話しできるのが楽しみです。

場所：明治大学黒川農場内

オリジナルスイーツの販売

明治大学、市民団体、地元産物が連携して、黒川地域の野菜と地元で買取った野菜を使ったスイーツを開発し、収穫祭で販売します。

場所：明治大学黒川農場内

サトヤマアート サンポ・マップの配布

**配布 10/31(土)～11/7(土)**

里山アートをあしめる散策マップを期間限定で無料配布します。

配布場所：せしけモリス大 黒川駅南口  
黒川地域でできるサトヤマアート

サトヤマアート サンポ ツアー

**実施日 11/7(土)**

展示した里山アートをガイドさんとともに鑑賞しながら、明治大学黒川農場を周遊する散策ツアーです。

集合：黒川駅南口 参加費：無料  
10:00 参加方法：当日先着順  
対象：どなたでも（定員を超えた場合、抽選）  
定員：30名 お断りの場合があります

お問い合わせ

体験Aに関するお申し込み等は、川崎市民の協働推進 TEL：044-200-2365  
体験Bに関するお申し込み等は、川崎市市民生活推進 TEL：044-965-5112  
本協議会に関するお問い合わせは、川崎市農業振興センター TEL：044-860-2461  
収穫祭に関するお問い合わせは、明治大学黒川農場 TEL：044-980-5300

## 里地里山チャレンジウィーク

「農と環境を活かしたまちづくり」の一環として、協議会及び各専門部会が、地元の方や近隣大学、行政等と連携して、10/31～11/7にかけて集中的に取り組みを実施する期間を

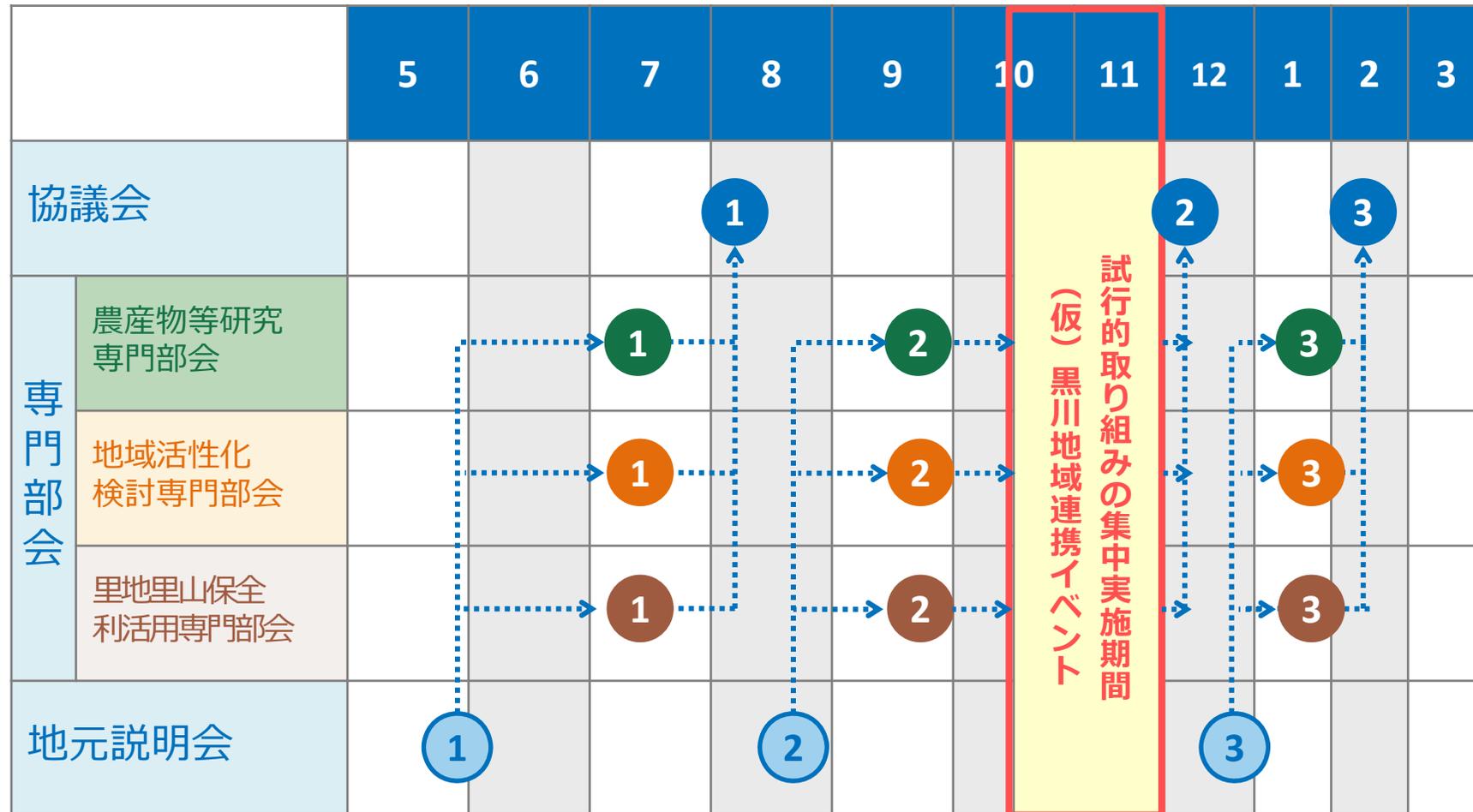
「里地里山チャレンジウィーク」と称して、関係者や地域の方々にPRしました。

市民や地元住民に、「農と環境を活かしたまちづくり」への理解を深めていただくとともに、各取り組みに対して参加や協力をお願いし、地元の方々と一緒にまちづくりを進めていくことを目的としています。

黒川地域連携協議会

19

今年度（H27）の取り組みの流れ（案）



※収穫祭：H27.11/7（土）